



2025年8月期 第2四半期（中間期）末

# 決算説明資料



株式会社エッチ・ケー・エス

東証スタンダード  
証券コード：7219

1. 当社紹介
2. 2025年8月期 第2四半期(中間期)連結決算概況
3. 第2四半期(中間期) 連結決算の概要
4. 第2四半期(中間期) 連結売上実績、および営業利益の推移
5. 第2四半期(中間期) 連結利益の推移
6. 対前年同期比 第2四半期(中間期)連結経常利益の増減要因
7. 主要な販管費科目の増減
8. 2025年8月期 第2四半期(中間期)貸借対照表の概要
9. 2025年8月期 第2四半期(中間期)におけるトピックス
10. 2025年8月期 第2四半期(中間期)にリリースされたおもな新製品
11. 2025年8月期 経営目標

# 1. 当社紹介

## 経営理念

感性に訴える  
こだわりのもの造りを通じて  
お客様のライフスタイルを  
より個性豊かなものに演出する事に  
挑戦し続ける。

## 経営方針

1. お客様の立場で行動する
2. 全ての品質を向上する
3. 世界的視野で行動する
4. 市場は自ら創造する
5. 環境との調和を図る

## 行動方針

1. プロ意識を持とう！  
今の自分の仕事レベルに自信が持てるか  
今やっている仕事でお客様が満足できるか  
常に目標意識を持って前向きに行動しよう！  
常に競争意識を持って自分のレベルを高めていこう！
2. 情報を共有化しよう！  
良い商品を創るためには会社の連携が必要  
自らの役割・責任を明確にし、良い商品を作るために  
コミュニケーションを活発にしよう！
3. 魅力ある会社にしよう！  
お客様の満足度は、良い商品、良いサービスから生まれ、  
良い商品、良いサービスは社員の満足度から生まれる。  
会社の将来像を自分たちで造りあげ、  
自ら行動を起こし魅力ある会社にしよう！

会社名 **株式会社エッチ・ケー・エス**

本社所在地 **静岡県富士宮市上井出2266番地**

設立 **1973年10月3日**

資本金 **878百万円**

代表者 **代表取締役社長 水口 大輔**

上場証券取引所 **東京証券取引所 スタンダード市場  
(証券コード 7219)**

従業員数 **384名(前年度末 連結)  
(外、平均臨時雇用者数 38名)**

主な事業内容 **自動車部品の製造、販売**

主な国内子会社 **日生工業株式会社  
株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー**

主な海外子会社 **HKS USA, INC.、HKS EUROPE LIMITED、  
HKS (THAILAND) Co., Ltd.  
艾驰楷时(上海)汽车科技有限公司(HKS上海)**

# 1. 当社紹介(事業の紹介)



## オートアフター マーケット事業

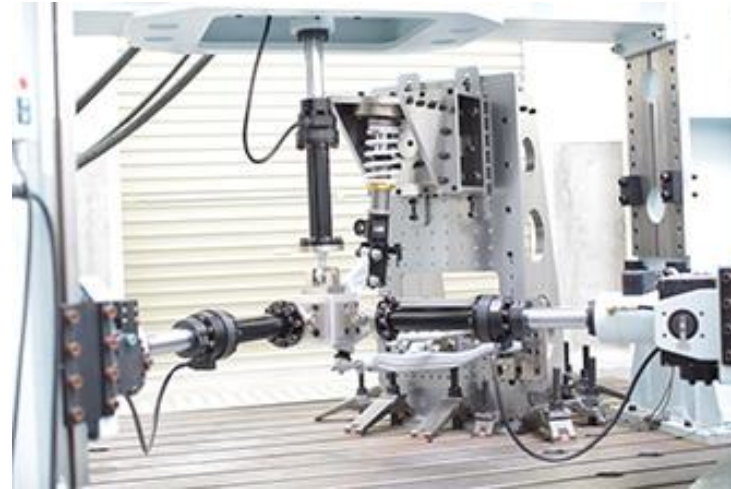
トータルバランスチューニング

アフターマーケット向けのチューニングのパイオニア企業として、事業内容は多岐にわたります。オリジナルマフラーやサスペンション、電子制御部品やエンジンパーツの設計・開発・製造などをはじめ、とりわけエンジン開発で培ったノウハウと実績が私たちの事業領域をさらに押し広げています。それは大排気量エンジン搭載の高級車モデルのチューニングをねらうスーパーチャージャーの開発であり、個性溢れる大人のチューニングを視野に入れた取り組みです。エンジニアの発想で常にいちばん新しいものを考え、カタチにするエッチ・ケー・エス。クルマの進化を真摯に見つめ、常に最高のドライビングパフォーマンスを引き出し、お客様の喜びを極大化します。



## エキゾーストパーツ・サスペンション・過給器他 OEM事業、機械加工受託事業

ISO9001 認証取得、品質に基づいたモノづくり



自動車用アフターマーケットのチューニングで培われた技術を生かし、主要自動車メーカー様などへの部品のOEM供給を行っております。マフラーの自動車メーカー様での純正採用。電子制御部品の採用、スーパーチャージャー・ターボチャージャーの純正採用など、各分野でのアフターで培った技術が自動車メーカー様をはじめ、自動車に限らず、マリジェット用のスーパーチャージャー等にも採用されております。HKSでは自社での研究、開発、自社生産設備を有し、ISO9001 認証取得済の工場での品質に基づいたモノづくりを行い、各種メーカー様のニーズにお応えいたします。

## 主要なオートアフターマーケットパーツ



マフラー商材  
(SUPER TURBO MUFFLER)



サスペンション商材  
(HIPERMAX R GR YARIS)



サスペンション商材  
(CARBON BLACE)



ターボ・冷却商材  
(GT Sports Turbine Kit)



エンジン商材  
(BCD Piston Full Kit)



電子系商材  
(VAC II)

# 1. 当社紹介(事業の紹介)

## IoT事業

IoT車載通信機的设计、開発、製造、販売事業

HKS IoTコネクティッドサービスを、専門ノウハウをもって構築したIoT車載器、HBASシリーズにて展開しています。  
 HBASシリーズには各種センサが搭載されています。搭載の各センサで車の位置や速度の変化、急加速の回数、車の傾き等を検出します。ドライブレコーダーモデルでは、360°カメラからの映像を画像処理し、事故等の衝撃時の映像に加え、進行方向からの飛び出し、ドライバーの「ながら運転」などの注目すべき映像のみを抽出可能です。  
 これらの情報や映像のデータは、LTE通信で直接クラウドサーバーやスマートフォン等に送信されるので、SDカードの抜き差しの手間がありません。また、Option Adapterを使用すれば、通信機能を持たない様々なデバイスと繋げることができますので、IoTデバイスとしてご使用頂けます。



## 基礎研究分野(EVコンバージョンプロジェクト) e-HIACE“MultiEnergy”Concept

2024年のオートサロンで発表したコンセプト車両で、車両の駆動をモーターで電動化し、エンジンはガソリンハイブリッド化したうえで、発電機として使用しています。当社は、この車両をベースに、EVコンバージョンキットの開発に向けた基礎研究をすすめてまいります。

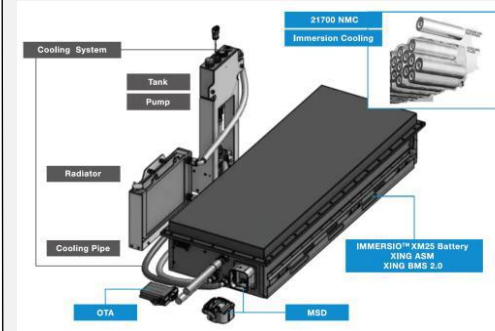


## 研究開発分野

### バッテリー事業分野

### EVトラック向け 交換式バッテリーパック

環境省委託事業「バッテリー交換式EV開発及び再エネ活用との組合せによるセクターカップリング実証事業」用交換式バッテリーパックに参画し、開発を進めています。



### バッテリー事業分野

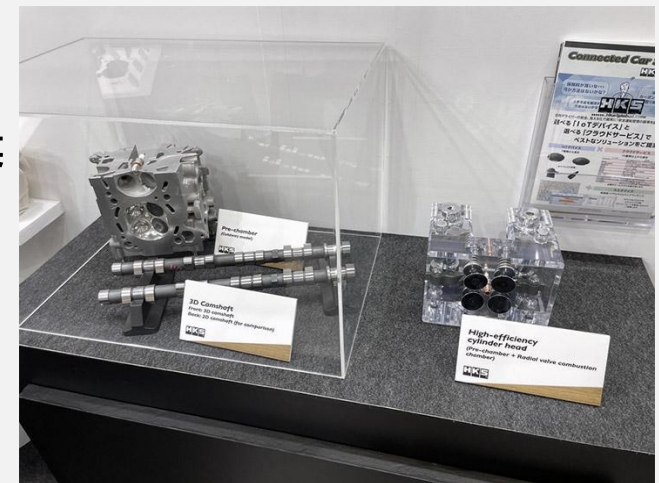
### EV用 液浸冷却バッテリー

液浸冷却バッテリーパックの開発を、協業関係にある台湾のXING Mobility社と進めています。

### 高効率エンジン事業分野

### アドバンスド・ヘリテージ事業

「あなたの旧車に最新の技術、未来の技術を」惜しまれつつ生産を終了した旧車をより魅力的に、より安心して長くお使い頂くために、最新のクルマに投入されている技術だけではなく、これから発売されるクルマに取り入れられるであろう、未来に向けた最先端の技術を、旧車向けのチューニングパーツに取り入れる取り組みをすすめております。



## 2. 2025年8月期 第2四半期(中間期)連結決算概況



### 前期における当社の概況

当社グループが主とするアフターマーケットをとりまく環境は、アフターコロナによる消費行動の多様化で、特に海外市場におけるユーザーからの引き合いが減少。現地代理店でも、それに合わせた在庫調整の動きがみられ、コロナ禍の巣ごもり需要で生まれた市場の追い風は、徐々に平常化しつつある。また、当社の主要ターゲットであるスポーツタイプ車両にて、新型車の納期遅延や受注停止が発生し、これに連動した新規商材の売れ行きにも影響が見受けられる。

これらの市場環境をふまえ、当社はブランド力の強化に努めるとともに、スポーツタイプ車両向け新商材の開発スピードをさらに高め、市場投入のタイミングを最適化することでお客様とのつながりを深め、顧客ニーズに即した新商材の企画・開発・販売を推進した。しかし、海外市場の需要落ち込みの影響を完全には補えず、売上高は前期を下回る結果となった。

### 当社が優先的に 対処すべき課題

消費行動の多様化にともなう市場への追い風の平常化に加え、原材料高やエネルギーコスト、人的コストの上昇等もあいまって、経営環境はますます厳しさを増している。このような環境下においては、お客様の需要をいち早くとらえ、その需要に適した商材をタイムリーに市場に提案することで、売上の機会を最大化し、収益性を高めることが重要となる。

当社では、お客様の需要にいち早くこたえるため、製・販・技一貫体制をさらに深化させるとともに、お客様と直に触れ合う機会を増やし、お客様のニーズを深掘りして体験・体感に訴えるものづくりへとつなげていくことで、需要に即した新規商材の企画・開発・提案に取り組んでいく。また、新規商材立ち上げ時のスムーズな製造・在庫化で、欠品の発生による機会損失を抑えるとともに、需要予測の精度向上や、社内協業体制の強化などの取り組みも進める。加えて、売上の裾野拡大のため、スポーツカー向けにとどまらず、RVやオフロード車両等にむけた商材の展開や、代理店の新設等による新しい国や地域への販路開拓等をはかる。さらには、当社の企画力・開発力や、充実した研究設備等、当社の強みを活かせる開発受託事業の分野の拡充にも、ますます力を入れていく。

### 当第2四半期(中間期)の 売上の状況

当社の主力であるアフターマーケット事業においては、海外代理店における在庫調整の動きが長引いており、特に米国、中国向けの出荷に停滞がみられたことから、海外販路向けの売上高は減少した。しかし、国内販路向けの売上高が伸びたことにより、連結グループ全体でのアフターマーケット事業の売上高は、前年同期比で増加となった。

アフターマーケット以外の分野については、製造受託事業の一部にて、委託企業の在庫調整等にもなう受注減の影響を受けたこと、およびバッテリーの受託事業が最終年度となるなか、本年度の受託額が前年度を下回ったこと等により、連結グループ全体では、前年同期比で減少した。以上の結果、当中間連結会計期間における連結売上高は4,216百万円（前年同期比0.2%増）となった。

### 当第2四半期(中間期)の 利益の状況

損益面では、相対的に売上総利益率の高い国内販路の売上割合が増加したことや、円安の影響で外貨建て売上高の円換算値が増加したこと等から、連結売上総利益率が40.9%と、前年同期を0.6ポイント上回ったが、販売費及び一般管理費が、人件費や販売運送費、委託業務手数料等の増加により、前年同期比で26百万円増加したことから、営業利益は112百万円（前年同期比0.4%増）となった。

また、経常利益は、為替差益の発生額が前年同期を上回ったこと等から171百万円（前年同期比10.7%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は132百万円（前年同期比7.6%増）となった。

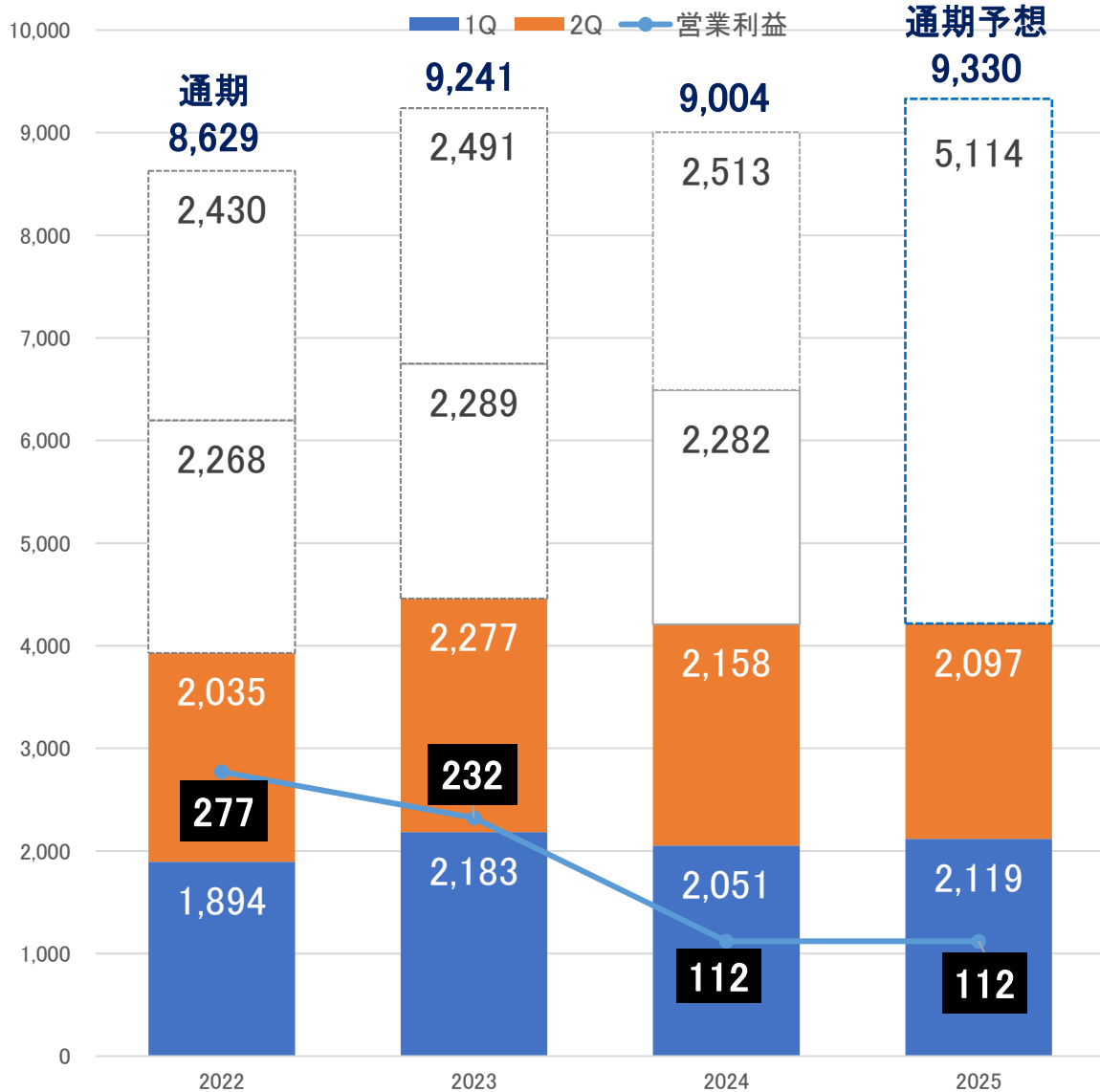
(単位:百万円)

### 3. 第2四半期(中間期) 連結決算の概要 (単位:百万円)

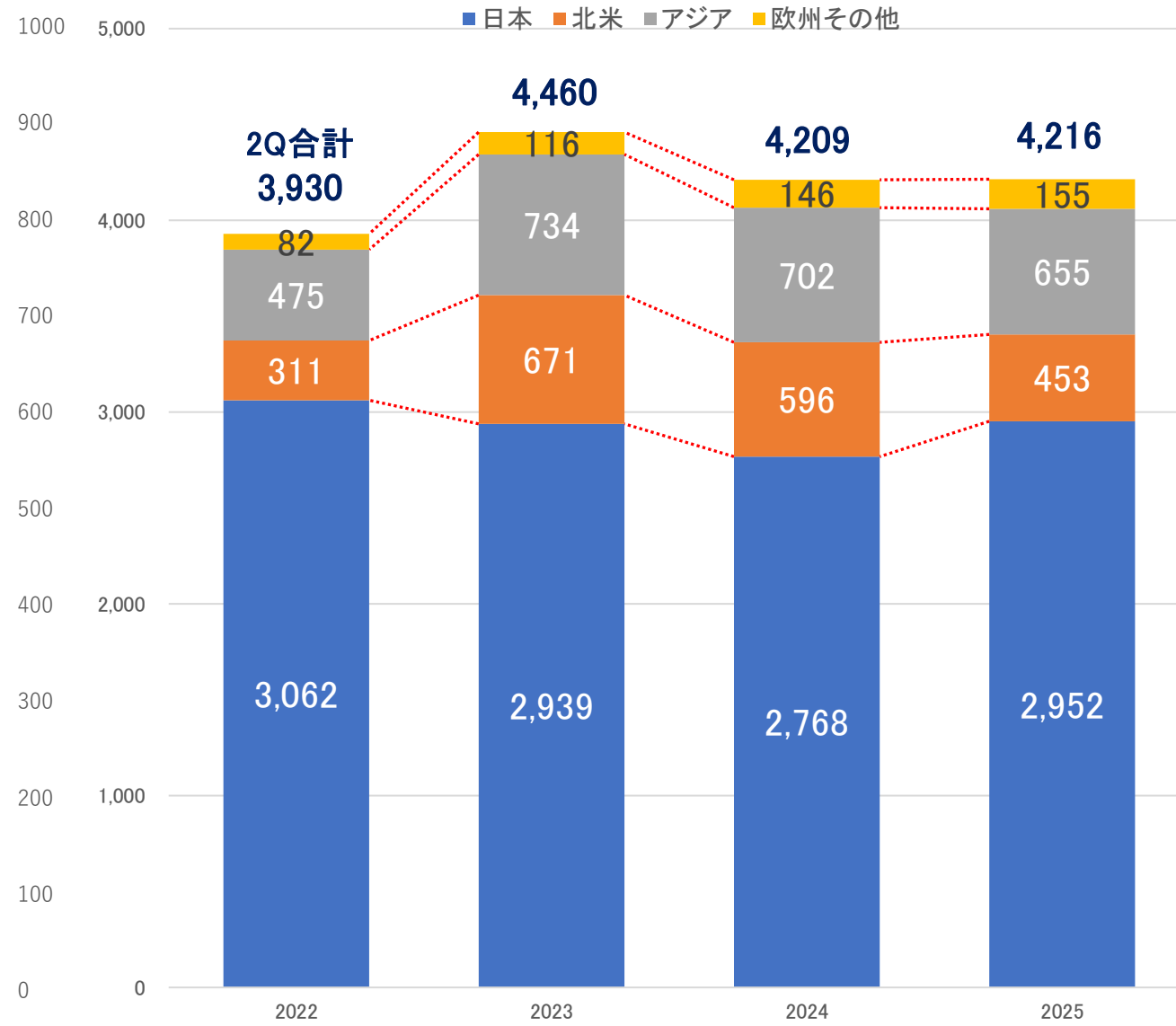
	2022年2月期		2023年2月期		2024年2月期		2025年2月期		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	3,930	100.0%	4,460	100.0%	4,209	100.0%	4,216	100.0%	100.2%
売上総利益	1,671	42.5%	1,824	40.9%	1,696	40.3%	1,723	40.9%	101.6%
販売費及び一般管理費	1,393	35.4%	1,592	35.7%	1,584	37.6%	1,610	38.2%	101.7%
営業利益	277	7.1%	232	5.2%	112	2.7%	112	2.7%	100.4%
経常利益	344	8.8%	219	4.9%	154	3.7%	171	4.1%	110.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	326	8.3%	146	3.3%	122	2.9%	132	3.1%	107.6%
一株当たり中間純利益(円)	230.85		103.87		86.84		93.43		
一株当たり純資産額(円)	6,525.78		6,768.05		7,065.42		7,353.67		
一株当たり中間配当金(円)	—		—		—		—		
株価(円)	1,806		1,853		2,100		2,011		
PBR(倍)	0.28		0.27		0.30		0.27		
ROE(%)	3.5		1.5		1.2		1.3		

# 4. 第2四半期(中間期) 連結売上実績、および営業利益の推移

## 四半期業績の推移 (単位:百万円)



## 2Q末時点 地域別売上実績の推移 (単位:百万円)

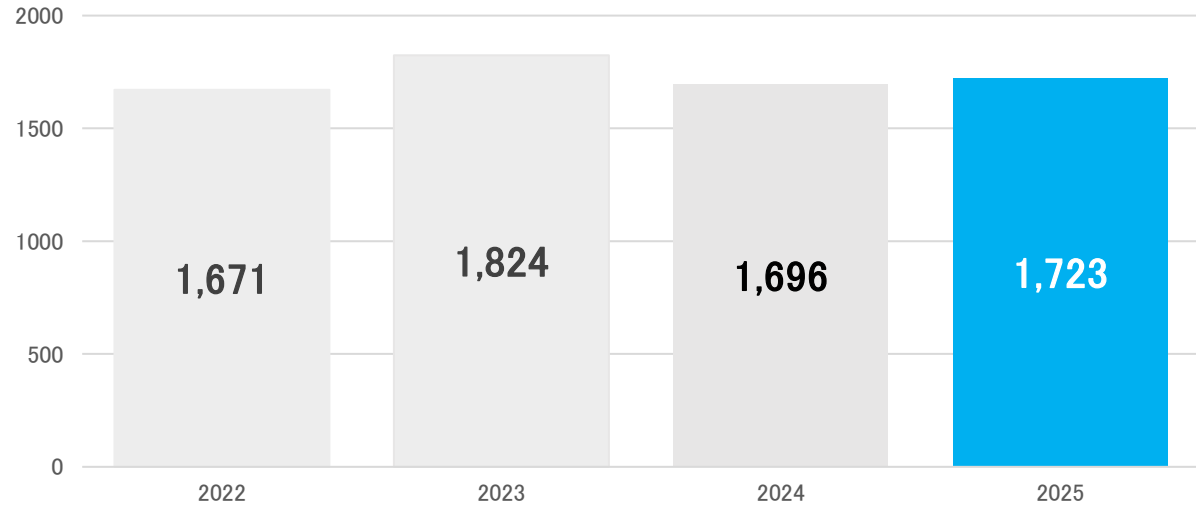




# 5. 第2四半期(中間期) 連結利益の推移 (単位: 百万円)

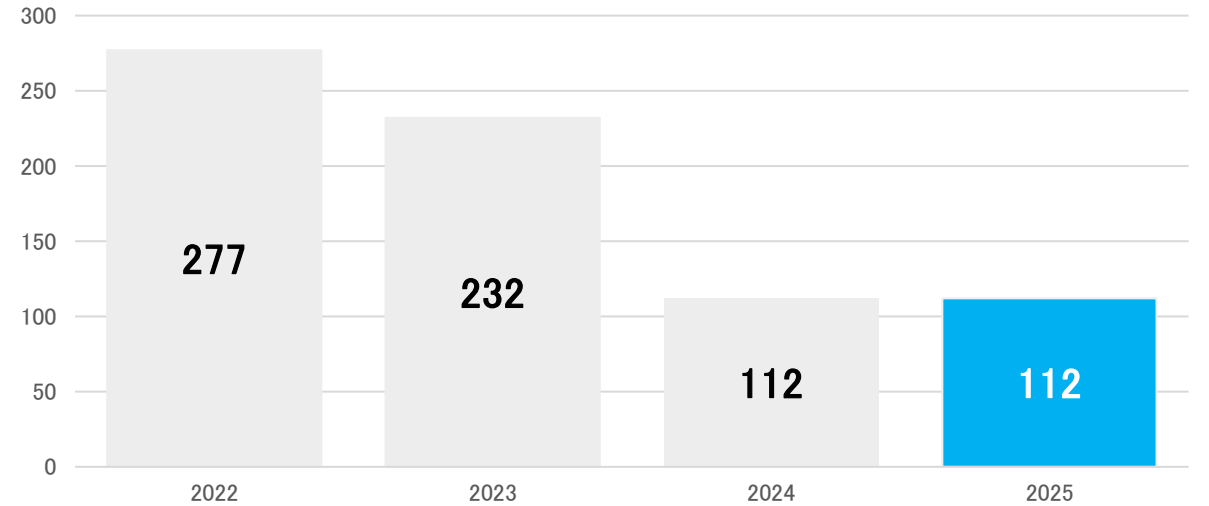
## 売上総利益

(単位: 百万円)



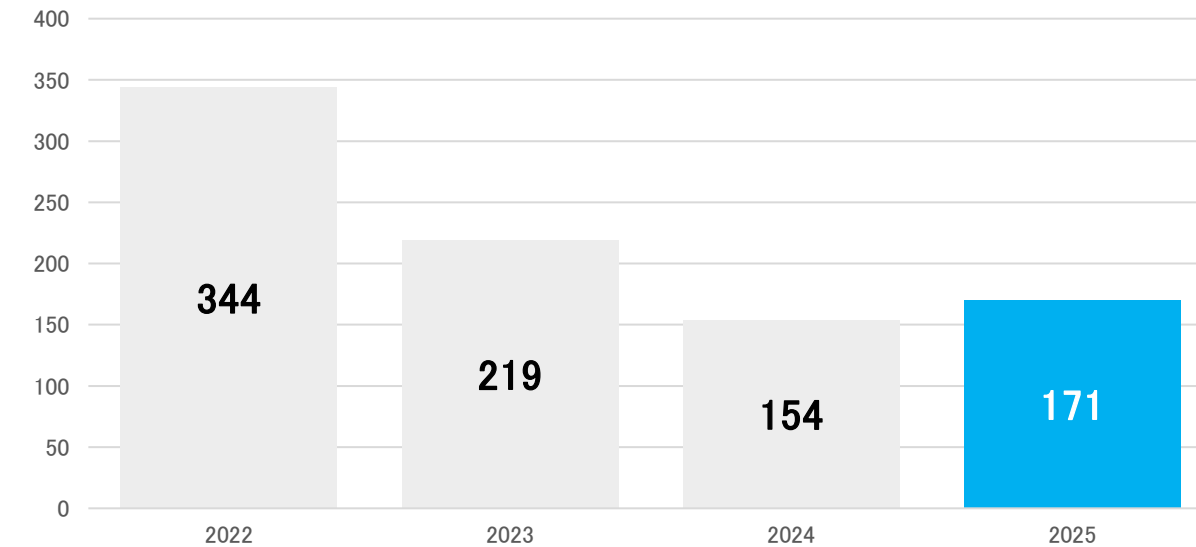
## 営業利益

(単位: 百万円)



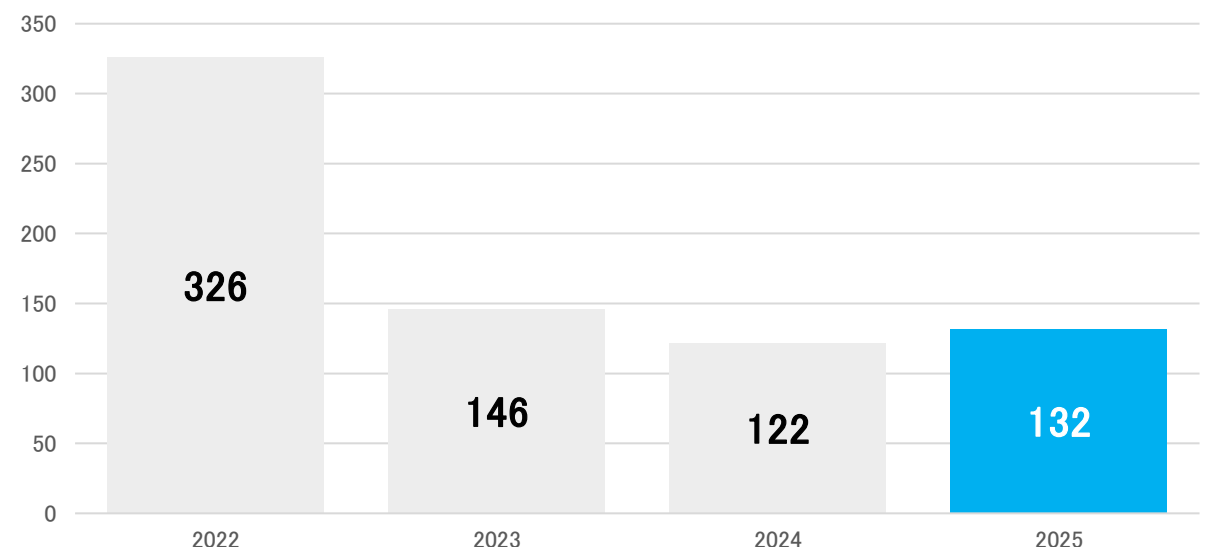
## 経常利益

(単位: 百万円)



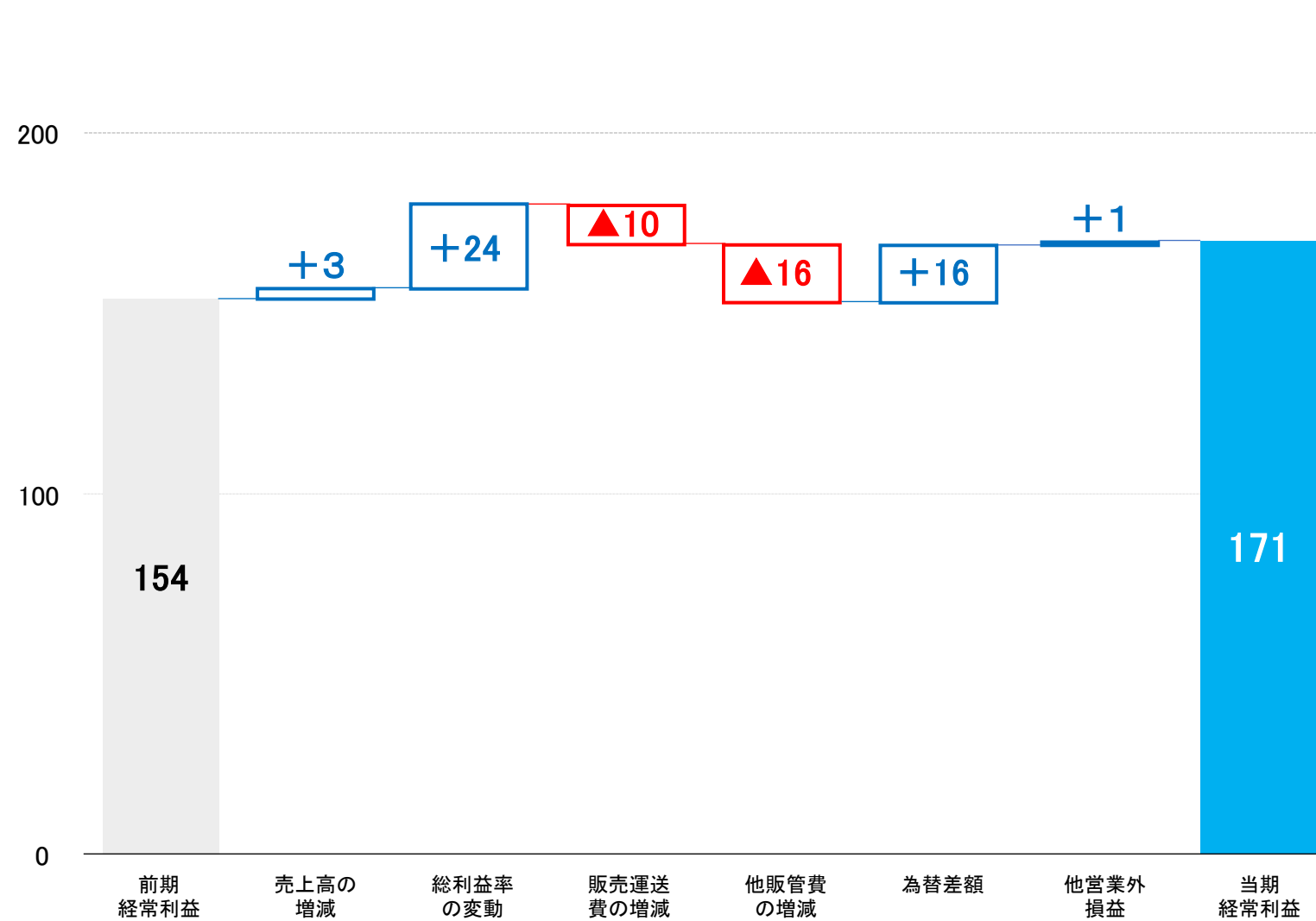
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 百万円)



## 6. 対前年同期比 第2四半期(中間期)連結経常利益の増減要因 (単位: 百万円)

(単位: 百万円)



経常利益変動要因	影響額(百万)	備考
売上高の増加	3	代理店での在庫削減等の影響で減収となった海外の穴を、国内や製造・開発受託業務がカバー
売上総利益率の変動	24	円安に伴う海外向けの荒利増と、比較的荒利率の高い国内向けの売上シェアが増えたことによる
販売運送費の増減	▲10	海外向けの海運コストのみならず国内の輸送コストも上昇傾向
その他販管費の増減	▲16	主な増減要因については次頁を参照
為替差額	16	前年度と当年度に計上した為替差益の差額
その他営業外損益	1	

(単位：百万円)

## 7. 主要な販管費科目の増減 (単位：百万円)

	2024/2期	2025/2期	増減額	主な要因
販売運送費	80	90	10	輸出量は減ったが、国内、海外とも運賃相場は上昇。
人件費	780	795	15	昇給等による人件費増
広告宣伝費	140	113	▲27	テーマの絞り方や、イベントの見せ方等を工夫し、同一規模の展開で費用対効果を向上
減価償却費	142	126	▲16	中国拠点で前年度実施した、開発車両の即時償却の影響がなくなったこと等による
その他	443	486	43	米国拠点向け委託業務料の増加や、通信費、出張手当見直しによる旅費交通費の増加等
合計	<b>1,585</b>	<b>1,610</b>	<b>25</b>	販管費は販売運送費、人件費、委託業務手数料等の増により、全体で25百万円の増加

## 8. 2025年8月期 第2四半期(中間期)貸借対照表の概要 (単位：百万円)

	資産		備考
	2024/8期末	2025/2期末	
現預金	2,122	1,798	(+) 有価証券の償還等 (△) 未払金の減に伴う支出
売上債権	1,160	864	
他流動資産	3,630	3,992	1年内満期の有価証券の増加 (投資有価証券からの振替)
有形固定資産	5,283	5,181	建設仮勘定△53 機械装置及び運搬具△37
無形固定資産	109	121	
投資等	1,035	896	投資有価証券△174
繰延資産	-	-	
<b>資産合計</b>	<b>13,340</b>	<b>12,854</b>	

	負債・純資産		備考
	2024/8期末	2025/2期末	
仕入債務	1,179	696	未払金△437
短期借入金	348	332	
他流動負債	558	563	
長期借入金	410	311	
他固定負債	527	547	退職給付等引当金の増
<b>負債合計</b>	<b>3,022</b>	<b>2,449</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>10,318</b>	<b>10,404</b>	未処分利益+40 為替換算調整+32
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,340</b>	<b>12,854</b>	

# 9. 2025年8月期 第2四半期(中間期)におけるトピックス

## TOPIX

「危険運転分析モデルの構築に関する実証実験」への  
当社製品の採用について



当社製のドライブレコーダー【HBAS-DR1】が、SCSK株式会社と栗林商船株式会社が共同で実施する“危険運転分析モデルの構築に関する実証実験”に採用されました。

実証期間は2027年9月までの約3年間、東京、大阪、仙台を拠点に貨物を運ぶ栗林商船およびそのグループ会社のトラック約100台に当社のドライブレコーダーを取り付け、車外の危険要因となる画像、運転手の行動や車の状態情報等のデータを取得。SCSKがそれを分析、学習し、人が暗黙的にとる行動の分析を行います。

※開示情報WEB [https://www.hks-global.com/news/241101\\_drive\\_recorder.html](https://www.hks-global.com/news/241101_drive_recorder.html)

## TOPIX

子会社の日生工業株式会社と共同で、日本最大級のクラシックモーターショー「ノスタルジック 2デイズ」に出展

当社と当社子会社の日生工業株式会社は、2月22日と23日にパシフィコ横浜で開催された、日本最大級のクラシックモーターショー「ノスタルジック 2デイズ」に出展しました。

自動車メーカー・部品メーカー向け部品の多品種少量生産を中心に、内燃機関部品の受託製造を得意とする日生工業と連携し、エンジン部品の共同展開の一環として、旧車愛好家の皆様に、旧車に現代の技術を取り入れる「レストモッド」スタイルや、最新技術を組み込んだエンジンパーツのワンオフ製作に関する提案をおこなってまいりました。



※開示情報WEB <https://www.hks-global.com/news/250207.pdf>

## TOPIX

HKS × Defi (日本精機株式会社)、協業でコラボレーション  
商品を展開

当社と、日本精機株式会社が手掛ける自社ブランド「Defi(デフィ)」は、自動車用アフターマーケット分野での協業による商品展開を実施いたします。

HKSの有するアフターマーケット向け・自動車メーカー向けOEMビジネスで培った車両電子制御ノウハウと、Defiの有する車載計器ビジネスで培った高信頼性ものづくりや設計ノウハウとを組み合わせ、自動車用アフターマーケット向けのハイパフォーマンスメーター事業展開や、EV関連事業での精密計器事業展開などへの各種対応を行ってまいります。

※開示情報WEB <https://www.hks-global.com/news/241220.pdf>  
[https://www.hks-power.co.jp/event/tas2025/product/Defi\\_HKS.html](https://www.hks-power.co.jp/event/tas2025/product/Defi_HKS.html)



パワートレインを基軸にした  
車両全体の商品開発

- ・車両統合制御ノウハウ
- ・CAN 通信解析
- ・IoT 車載デバイスノウハウ

世界トップクラスの  
車載メーター設計・製造力

- ・純正車載製品の設計・製造技術
- ・高耐久センサーパッケージング技術
- ・自社製メーター・ディスプレイなど  
新技術への挑戦



協業による  
商品開発

協業によるコラボレーション商品展開

両社の技術とノウハウを掛け合わせた新たな高品質なコラボレーション商品をグローバルに展開  
特に車両との統合制御、CANなどの最新技術に対応した Made in Japan のものづくり

# 10. 2025年8月期 第2四半期(中間期)にリリースされたおもな新製品

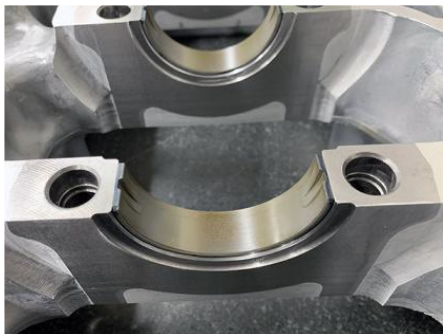


## 新製品 SHORT BLOCK G16E 1.75L H-COMP Triple Tumble STEP 3



GRヤリスRZ/RC系専用エンジン「G16E-GTS」は、縦の渦流である「タンブル流」による高速燃焼、高効率、高い環境性能を意識した設計がなされていますが、当社は独自開発の「トリプルタンブル」形状を採用したハイコンプ仕様の削り出しピストンを採用し、このタンブル流を効果的に発生させ、ノッキングを抑えることで、高圧縮・高過給を可能としました。またピストンは軽量・高剛性を両立する「BCD(ブリッジ構造)」を採用しております。

コンロッドには、削り出し I 断面のSTEP3コンロッドを採用。純正比25%の強度アップを実現し、許容トルクを向上しております。クランクシャフトはクロム鋼を削り出して製作。効率良いカウンターウェイトの配置とピン部の軽量化により、慣性重量を低減しました。ブロックはシリンダー変形等を抑制し、高燃焼圧に対応するため、クローズドデッキ加工を行っております。また、平面度向上のためのデッキ面の面研や、シリンダー円筒度向上のためのダミーヘッドボーリング加工を行っております。



耐荷重に優れるメインベアリング



耐荷重に優れるコンロッドベアリング



クローズドデッキ化による冷却水の流れの変化を、水穴追加によって最適化

## 新製品 Mastery ECU トヨタ ランドクルーザー

お客様の車両に取り付けられたECU(電子制御ユニット)をお預かりし、当社で燃料、点火時期等のマップの最適化やブースト圧の変更等を行うことで、走りをグレードアップする「Mastery ECU」にトヨタランドクルーザー用をラインアップ。クロスカントリー車両をはじめとしたスポーツカー以外の分野にも、積極的に新製品を展開してまいります。



## 新製品 CARBON BRACE GR86/BRZ

「人とするまのテクノロジー展 2024」に出展した車体補強部品「カーボンブレース」を、トヨタGR86/スバルBRZ向けに上市しました。ゴルフ用カーボンシャフトのリーディングカンパニーであるGRAPHITE DESIGN社のカーボンシャフトを使用。純正バー(フロント:スチール製)を置き換え、さらに左右を繋ぐバー(フロント・リア)を追加する構成で、純正から交換することにより、嫌な突っ張り感がなくなるとともに、カーボンシャフトが不快な振動を吸収し、雑味の無いしっとりとした上質な乗り味になります。



# 10. 2025年8月期 第2四半期(中間期)にリリースされたおもな新製品

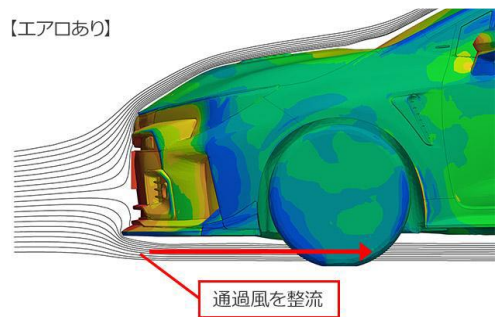


## 新製品 HKS Body Kit Type S TOYOTA GR COROLLA

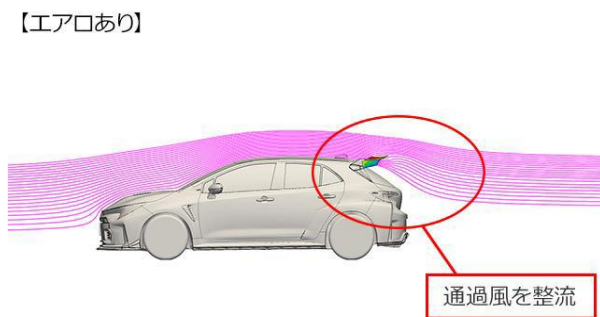


「機能美かつドレスアップを両立するボディーキット」をコンセプトに、HKSレーシングスタイルを継承し、力強さを表現したオリジナルエアロパーツに仕上げました。空力解析・3D CADでモデリングされたスタイリッシュなフォルムをまとい、走行安定性能の向上を図ります。

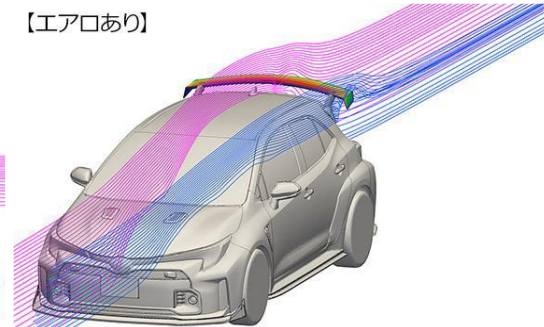
【エアロあり】



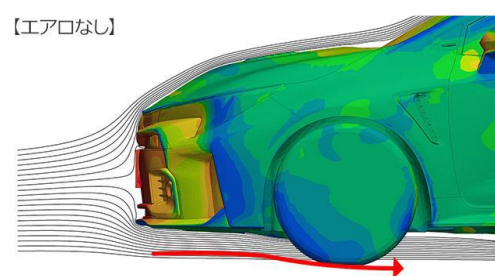
【エアロあり】



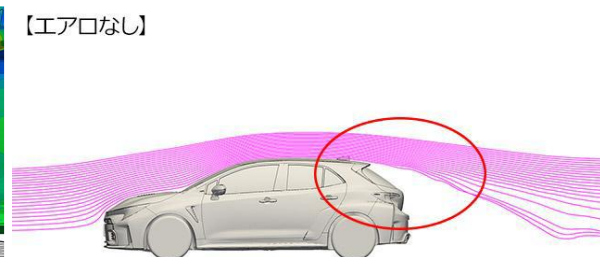
【エアロあり】



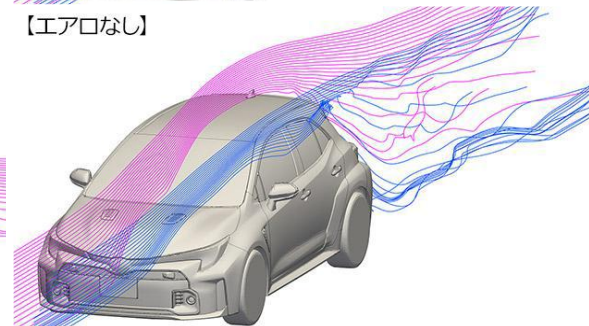
【エアロなし】



【エアロなし】



【エアロなし】



(スモークを流し、通過風が整流されているのを確認)

### ●実走確認(BODY KIT 有無比較) at FUJI SPEEDWAY

- ・Body Kitの有無での違いを体感することができます。
- ・ブレーキング時のスタビリティが向上します。
- ・アンダーステアの抑制及び出方がマイルドになります。
- ・リアのスタビリティが向上します。
- ・限界域のコントロール性が穏やかになり乗りやすくなります。
- ・200km/h以上の実走を繰り返しテストを行い、強度を確保しております。

### ①繰り返しの学びで習熟度を高め、従業員の力量アップにつなげる

従業員の力量向上を目指し、eラーニングや動画マニュアルを活用して習熟度を高める取り組みを進めてまいります。これに加え、職場環境の改善を図り、心から感謝の言葉を伝え合える文化の醸成にも努めてまいります。また、評価制度の改定を進めていくとともに、リクルーティングの質を高めるためにダイレクトリクルーティングやSNSを積極活用してまいります。

### ②さらなる品質向上に向け、社内体制を構築する

品質管理の強化に向け、品質不良を未然に防ぐ体制の構築を進めるとともに、発生した不具合に対しては迅速かつ的確に対処する仕組みの整備強化を図ります。各部門のTPM活動を促進し、その進捗を年次報告として全部署で共有してまいります。

### ③新規商品の早期展開で、お客様を笑顔にする

新規商品の早期展開でお客様を笑顔にすることを目標に、開発部門と営業部門が密に連携し、新商品の価値をより強力に伝えてまいります。開発部門では新規開発と量産後の対応を分業化し、開発効率を向上させてまいります。また、製造部門ではマフラー商材の生産技術を強化し、稼働率向上を図ってまいります。営業部門は、グローバルメディア展開を含む商材ごとの担当者選任体制の強化を進めてまいります。

### ④子会社との連携を強化し、新たなゾーンへ挑戦する

子会社との連携強化を通じ、新たな市場への挑戦を進めてまいります。米国、英国、中国、タイの各子会社との連携を強化し、現地での商材展開や事業計画の推進を加速してまいります。また、国内子会社である日生工業株式会社や株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリーとも協力し、エンジン部品の共同展開やカスタマイズ車両の拡販を進めてまいります。

### ⑤地域・社会貢献と、社会課題の解決に向けた取り組みを強化する

地域社会への貢献と社会課題の解決に向けた取り組みとして、Advanced Heritageコンセプトの推進やカーボンニュートラルを目指した商材の展開、バッテリーパック事業の成長、新規分野への進出を検討し、推進してまいります。地域との連携や工場見学の実施を通じて、当社の認知度向上にも取り組んでまいります。